

1 重点的な施策と実施状況

「第3次中野市子ども読書活動推進計画」(以下、「第3次計画」という。)では、平成 24 年に策定した「第2次中野市子ども読書活動推進計画」の成果と課題を踏まえ、子どもたちの読書に親しむ習慣の定着を目的として、家庭、地域、幼稚園、保育所、認定こども園、学校、市立図書館等の連携を深め、市民と市が協働して各種事業に取り組んできました。

計画期間中の重点的な施策

第3次計画では、「子どもたち自ら本に親しみ、豊かな心と生きる力を育むため」という基本理念のもと、更なる子どもの読書活動の定着を実現するため、計画期間中の重点的な施策を設定し、あらゆる分野で次の施策によって、各種事業を実施しました。

- ① 子どもの成長に合わせた読書スペースや蔵書の整備、充実
- ② 子どもの読書を支える人たちの更なる充実と育成
- ③ 家庭・地域、幼稚園・保育所・認定こども園、学校、図書館が特性を生かして深める子ども読書活動の推進

各分野における事業の実施状況

各分野における事業の実施状況は次のとおりです。

① 家庭・地域での取組

子どもの読書習慣は毎日の生活の中で培われることから、家庭や地域において子どもの読書習慣を培うために、家庭内での読み聞かせ等の習慣づけが必要です。地域の子どもたちが読書に親しめる機会をつくるため、各種事業を実施しました。

- ・ブックスタート事業の実施(市立図書館)
- ・関係機関への読み聞かせボランティアの紹介(生涯学習課)
- ・家庭読書週間啓発チラシ、おはなしマップ、ブックリストの発行(中野市子ども読書活動推進連絡会議、生涯学習課)
- ・家族ぐるみで子ども読書活動を推進するための「家庭読書週間」や「中野市子ども読書活動『ファミリー賞』」の実施(中野市子ども読書活動推進連絡会議、生涯学習課) など

② 幼稚園・保育所・認定こども園での取組

幼児期の子どもたちにとって、読書は人間形成の基礎を築き、豊かな心を育むための重要な手段となります。幼稚園教諭や保育士等が読書の大切さについて理解を深めるとともに、市立図書館と連携することによって、幼児期の子どもたちが読み聞かせ等の楽しさに出会える環境をつくるために、市内の幼稚園や保育所、認定こども園で各種事業を実施しました。

- ・子どもの保護者や家族に向けた読書や読み聞かせ情報の発信(読み聞かせに関するチラシ、写真の配布、掲示、配信など)

- ・「どこでも図書館」(廃校の図書貸出し)や寄贈絵本を活用した読み聞かせの実施
- ・各保育室や共有スペースに絵本コーナーを設けるなど子どもの読書環境の整備
- ・市立図書館が実施する「読み聞かせ出前事業」や「絵本貸出し事業」を活用した園児向けの読み聞かせ など

③ 小・中学校での取組

学校に通う子どもたちにとって、読書は感性や情緒の基礎となる言語力の育成に必要なことです。また、学校図書館は子どもたちが、豊かな心を育むための自由読書や読書指導の場であり、司書教諭及び学校司書等を中心とした教職員の協力体制や研修の充実を通して、子どもや子どもを取り巻く読書環境を整備するために、市内の小・中学校で各種事業を実施しました。

- ・学校司書を配置し、学校図書館を活用した授業に必要な学習資料の提供
- ・学校司書やボランティアによる読み聞かせの実施
- ・子どもたちの読書習慣の定着のための「一斉読書」や「読書の時間」の実施
- ・図書委員や図書担当教諭等による、各種読書活動関連イベントの実施
- ・「家庭読書週間(旬間)」に合わせた「うちどくの日」の実施
- ・県図書館大会や図書館協会研修会等への参加 など

④ 市立図書館での取組

市立図書館は、子どもが読書に親しむことができる身近な施設であり、子どもの保護者にとっては、子どものための選書や読書に関する相談ができる施設です。家庭や地域、幼稚園・保育所・認定こども園、学校等と連携しながら、子どもの読書活動を推進するための包括的な拠点となるよう環境整備するため、各種事業を実施しました。

- ・図書館まつりやおはなし会、幼稚園・保育園など図書館内外での読み聞かせの実施
- ・乳幼児健診時における「ブックスタート事業」(絵本のプレゼント)の実施
- ・「おはなしタイム」「0歳～3歳のおはなし会」などの「フォローアップ事業」の実施
- ・廃校となった小学校の図書を希望する施設へ貸し出す「どこでも図書館」の実施
- ・「デジとしょ信州」(市町村と県による協働電子図書館)の実施 など

2 成果と課題

第3次計画で各分野が実施した、一部事業の成果と課題は次のとおりです。

なお、成果と課題は、平成 29 年度から令和 7 年度までの実績です。

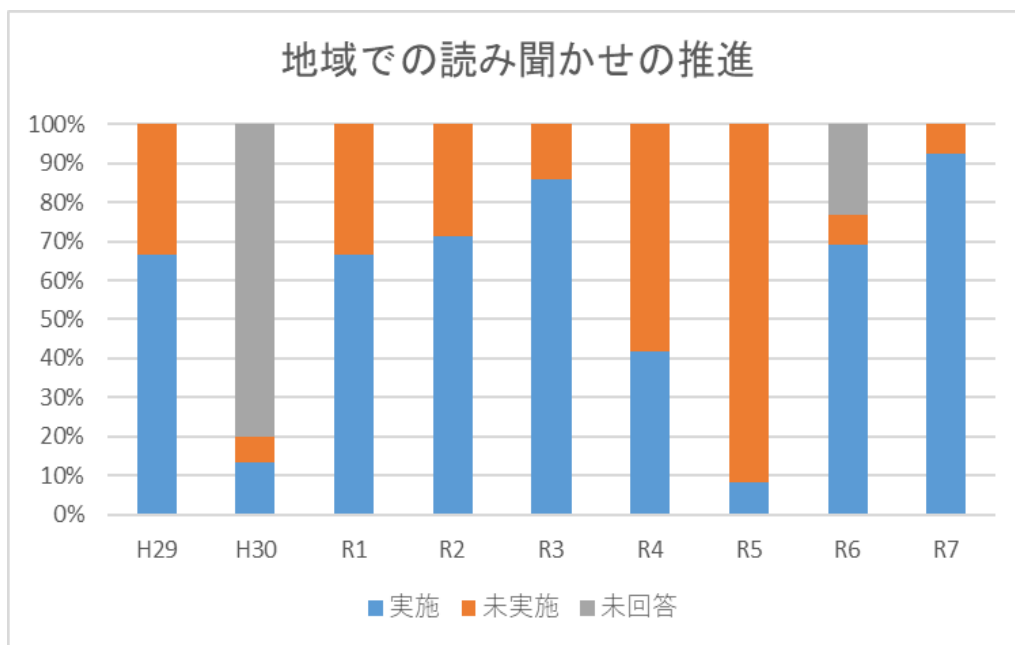
① 家庭・地域分野

【所属する機関】

中央子育て支援センター、豊田子育て支援センター、中野児童センター、平野児童センター、中野放課後児童クラブ、平野放課後児童クラブ、日野放課後児童クラブ、延徳放課後児童クラブ、高丘放課後児童クラブ、高社放課後児童クラブ、豊田放課後児童クラブ、学童保育やまびこ、子育て支援拠点施設「HUBLIC」(計 13 施設)

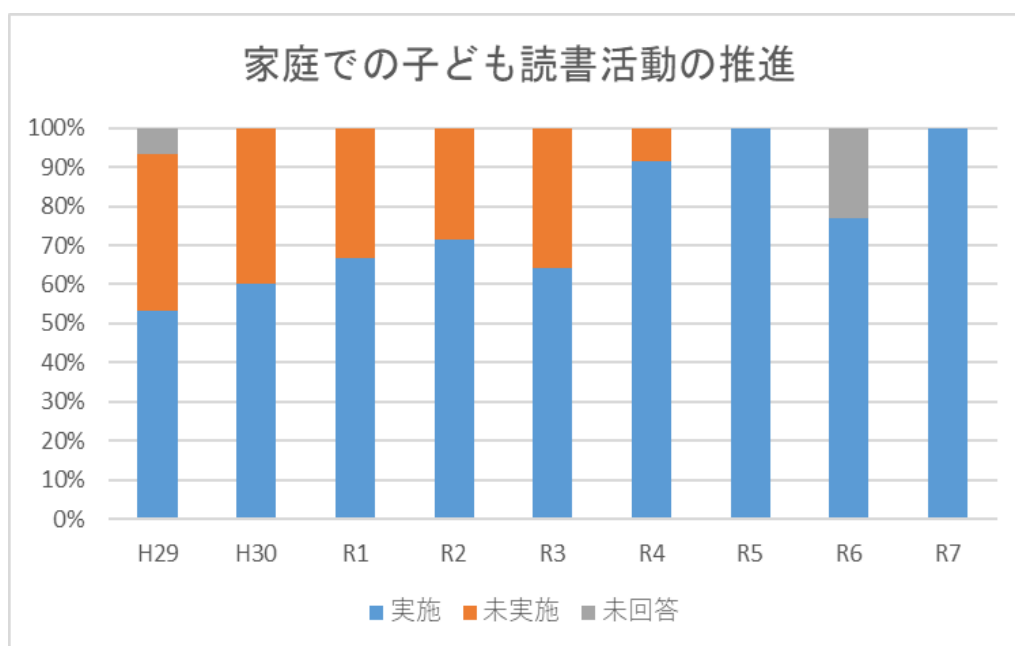
地域での読み聞かせの推進

各施設における読み聞かせの状況は、令和5年度は実施施設が少なくなりましたが、令和6年度から令和7年度にかけて、実施状況の改善が見られます。読み聞かせボランティア等による読み聞かせや地域との連携を通じて、今後も、多くの子育て支援施設で読み聞かせが実施されるよう努めることが課題です。



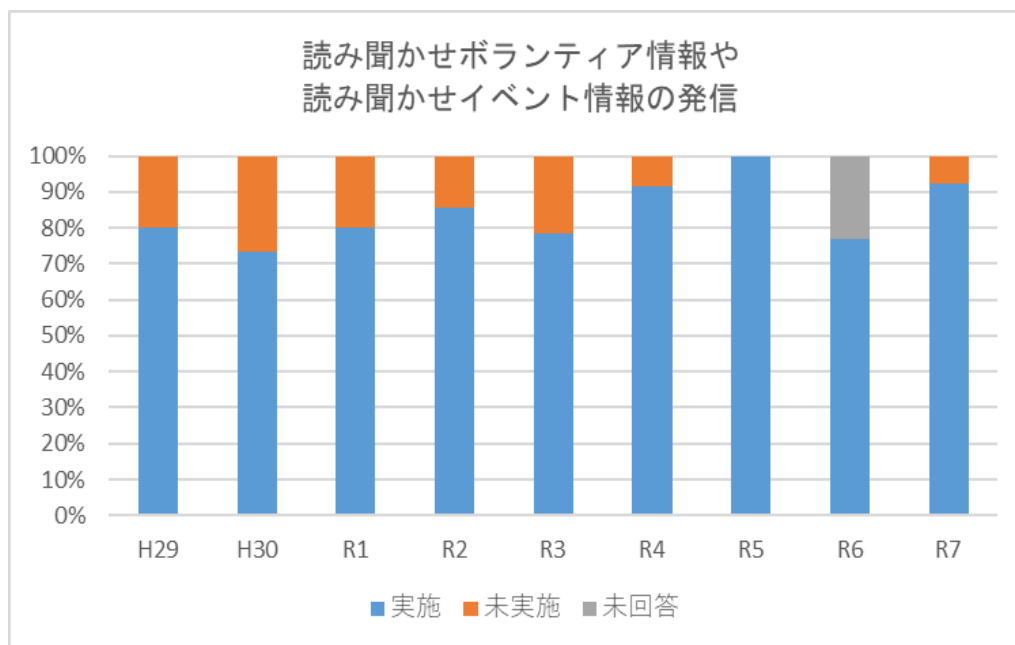
家庭での子ども読書活動の推進

各施設における家庭での子ども読書活動の推進は、図書館だよりの掲示や配布を行うなど、令和7年度は全ての施設で取組が進められています。本の面白さ、大切さを伝え、より一層子ども読書活動の推進を図っていくことが課題です。



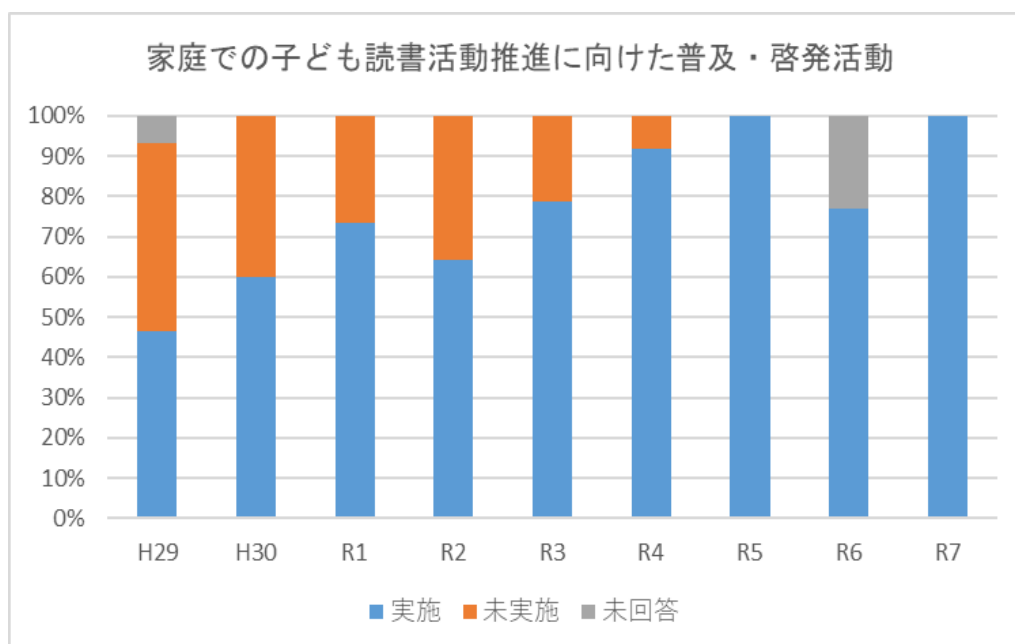
読み聞かせボランティア情報や読み聞かせイベント情報の発信

各施設における読み聞かせに関する情報の発信は、市立図書館や生涯学習課からのお知らせを配布するなど、令和7年度は9割以上の施設で取組が進められています。本を身近に感じてもらえるように、ポスターやチラシ等を保護者に見やすい場所に掲示するなど、より一層子ども読書活動の推進を図っていくことが課題です。



家庭での子どもの読書活動推進に向けた普及・啓発活動

各施設における家庭や子ども向けの普及・啓発活動は、施設が発行するおたよりで絵本を紹介したり、推薦図書を掲示したりするなど、令和7年度は全ての施設で取組が進められています。読み聞かせの中で本の面白さを伝えるなど、今後も普及・啓発活動を継続することで、更なる子どもの読書活動を推進することが課題です。



② 幼稚園・保育所・認定こども園分野

【所属する機関】

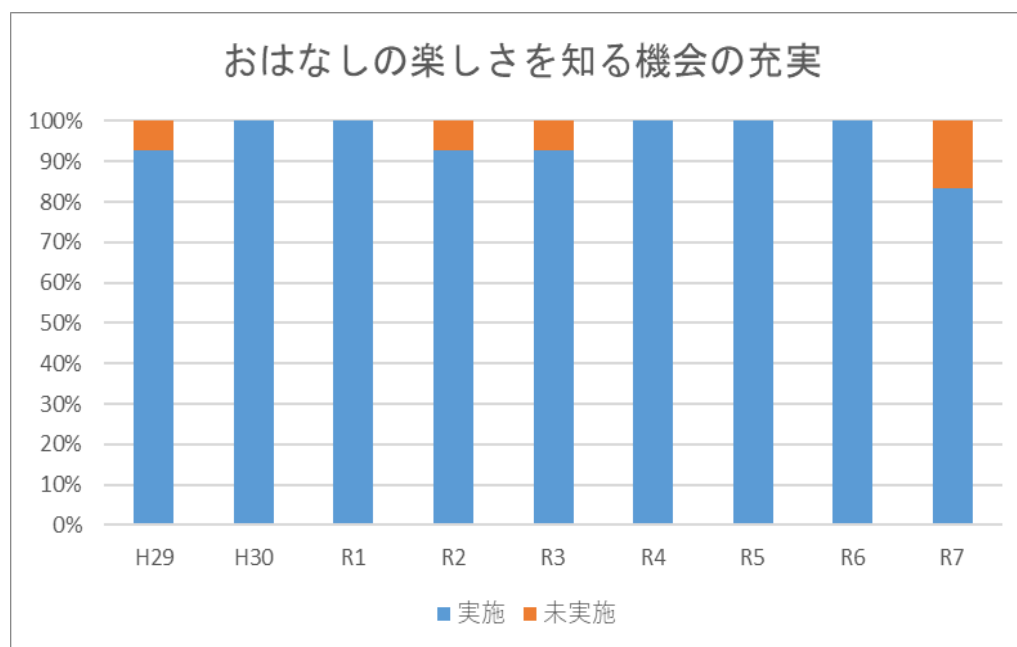
（公立保育所） みなみ保育園、平野保育園、ひまわり保育園、松川保育園、
高丘保育園、ひらおか保育園、たかやしろ保育園、とよた保育園、
さくら保育園

（私立保育所） ひよこ保育園（私立幼稚園） 中野中央幼稚園

（私立認定こども園） 中野マリア幼稚園（計 12 施設）

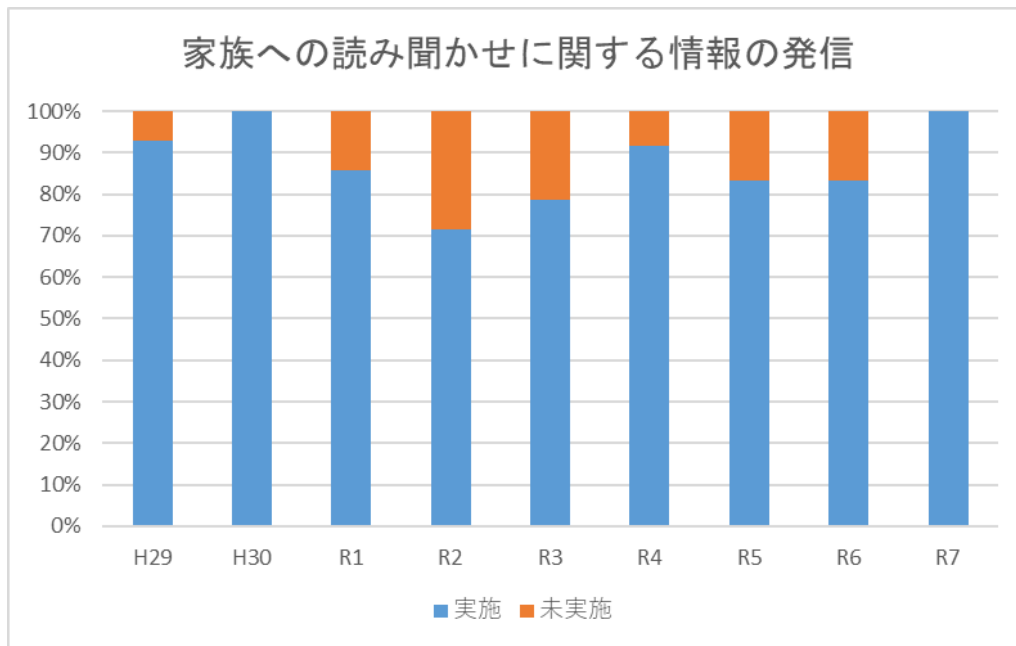
おはなしの楽しさを知る機会の充実

各園における実施状況は、各クラスで読み聞かせを行ったり、バス遠足で図書館に行ったりするなど、令和7年度は8割以上の園で取組が進められています。子どもの読書意欲を高めるため、今後も多くの園で継続的に読み聞かせを実施することが課題です。



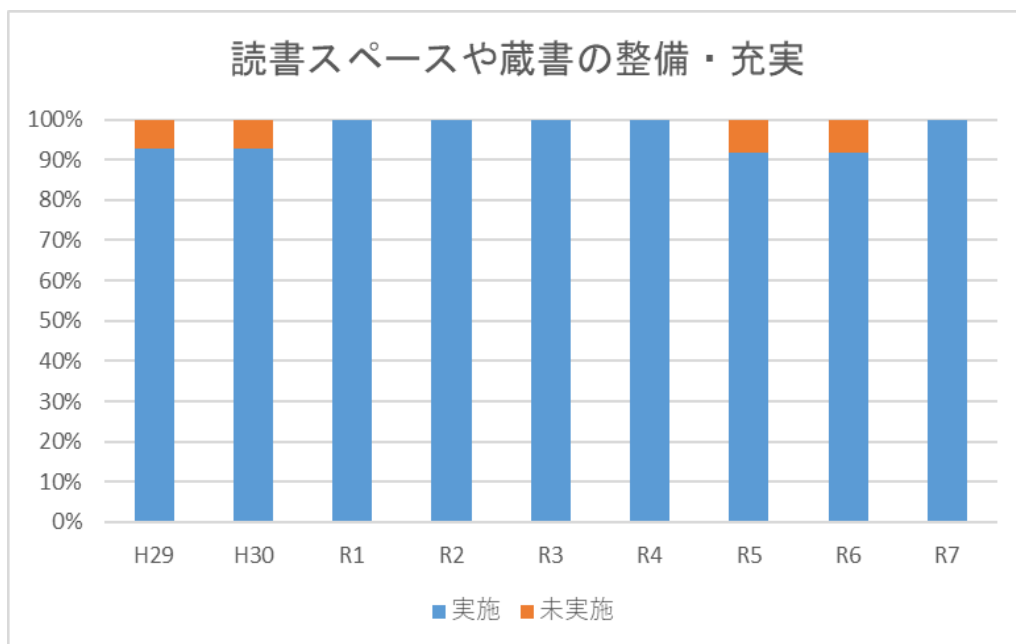
家族への読み聞かせに関する情報の発信

各園における家族への情報の発信は、図書だよりを配布したり、読み聞かせの様子を写真で配信したりするなど、令和7年度は全ての園で取組が進められています。今後も普及・啓発活動を継続することで、更なる子どもの読書活動を推進することが課題です。（グラフは次ページ）



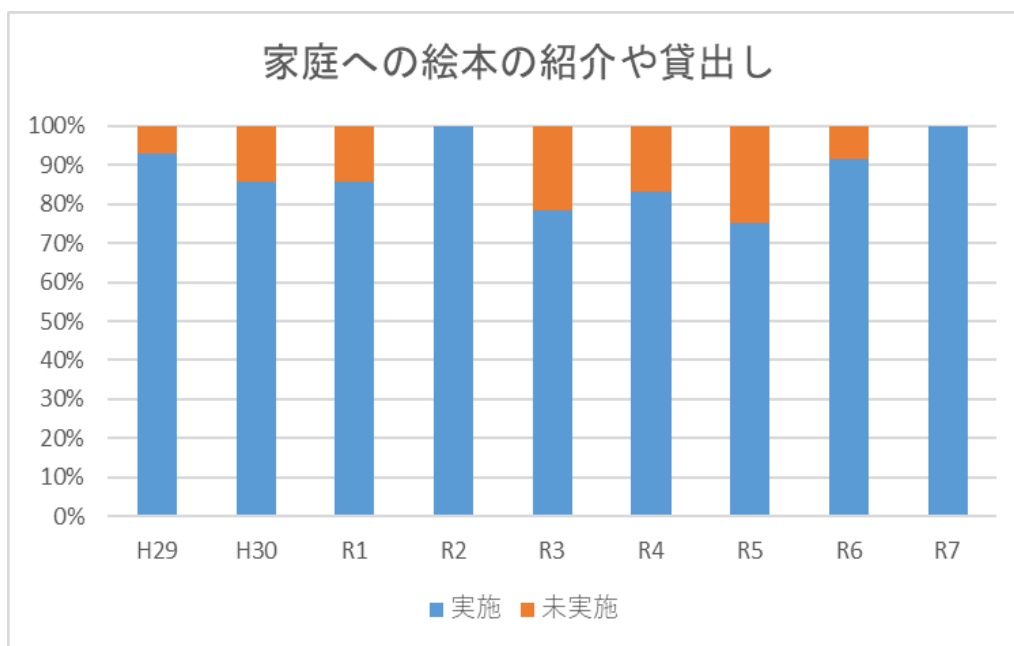
読書スペースや蔵書の整備・充実

各園における実施状況は、玄関や廊下に絵本コーナーを設けたり、年に1回蔵書整理をするなど、令和7年度は全ての園で取組が進められています。今後も継続して読書環境の整備・充実に取り組んでいくことが課題です。



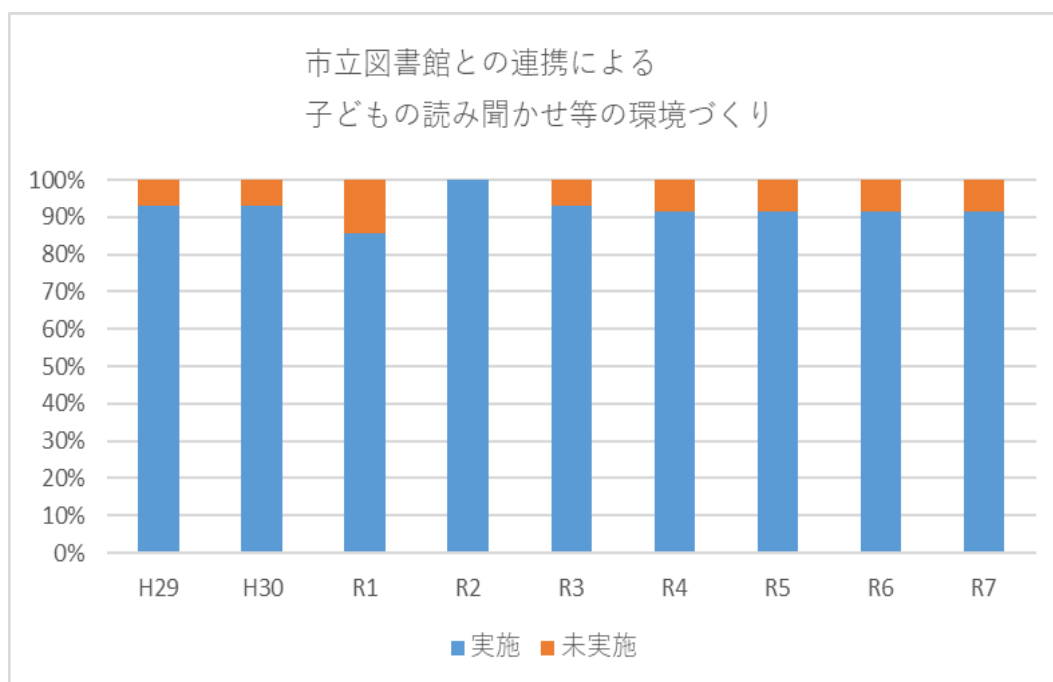
家庭への絵本の紹介や貸出し

各園における家庭への絵本の貸出状況は、定期的な園児への絵本の貸出しやおたよりで家庭への絵本の紹介を行うなど、令和7年度は全ての園で取組が進められています。家庭での読書活動を充実させるため、読書環境の整備・充実と併せて、多くの園児やその家族が絵本に触れる機会が増えるよう、園内にある絵本の貸出しに努めることが課題です。
(グラフは次ページ)



市立図書館との連携による子どもの読み聞かせ等の環境づくり

各園における市立図書館司書との連携による子ども読書活動推進の取組は、図書館司書による読み聞かせや「どこでも図書館」の利用など、令和7年度は9割以上の園で取組が進められています。図書館司書による園内での読み聞かせは、子どもの読書意欲を高める貴重な機会となっていることから、今後も市立図書館と連携することにより、継続して子どもの読み聞かせ等の環境づくりを進めることが課題です。



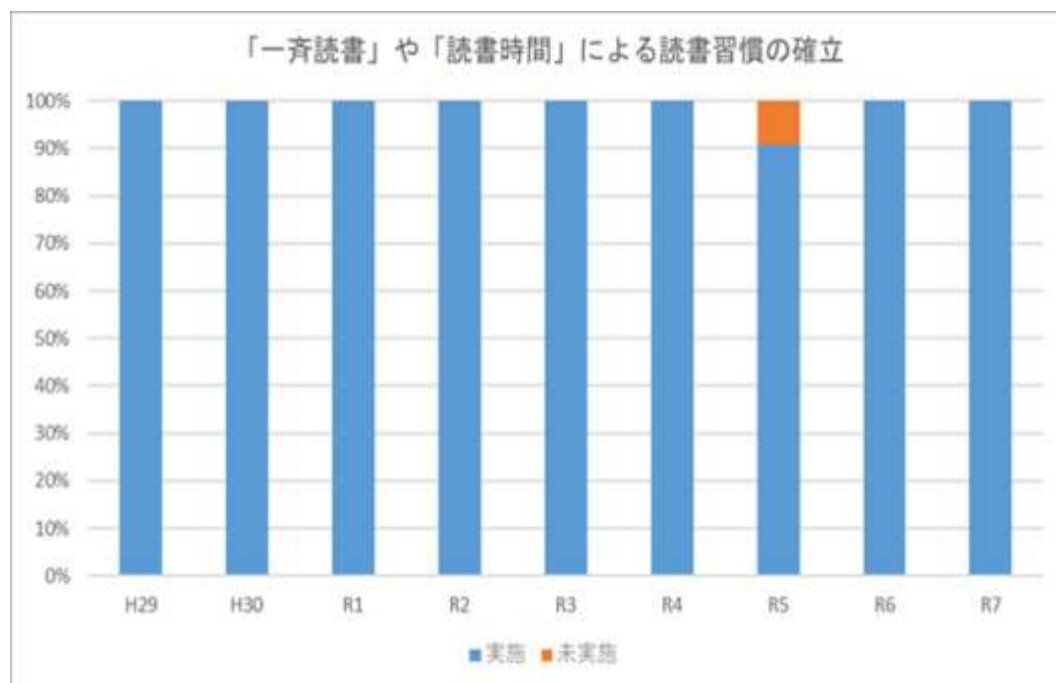
③ 小・中学校分野

【所属する機関】

（公立小学校） 中野小学校、日野小学校、延徳小学校、平野小学校、
高丘小学校、高社小学校、豊田小学校
（公立中学校） 南宮中学校、中野平中学校、高社中学校、豊田中学校
（計 11 施設）

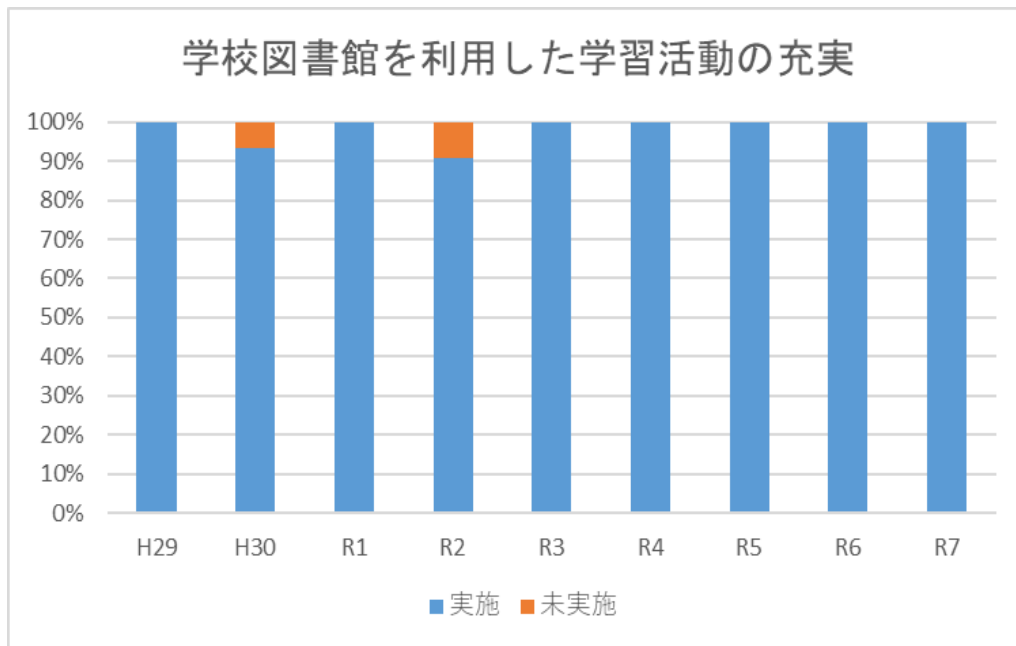
「一斉読書」や「読書時間」による読書習慣の確立

各学校における実施状況は、朝の全校一斉読書や読書旬間、図書館時間の確保など、令和5年度を除き全ての学校で取組が進められています。子どもの読書習慣の定着を図るため、今後も継続して「一斉読書」や「読書時間」に取り組み、学校における読書の時間を確保することが課題です。



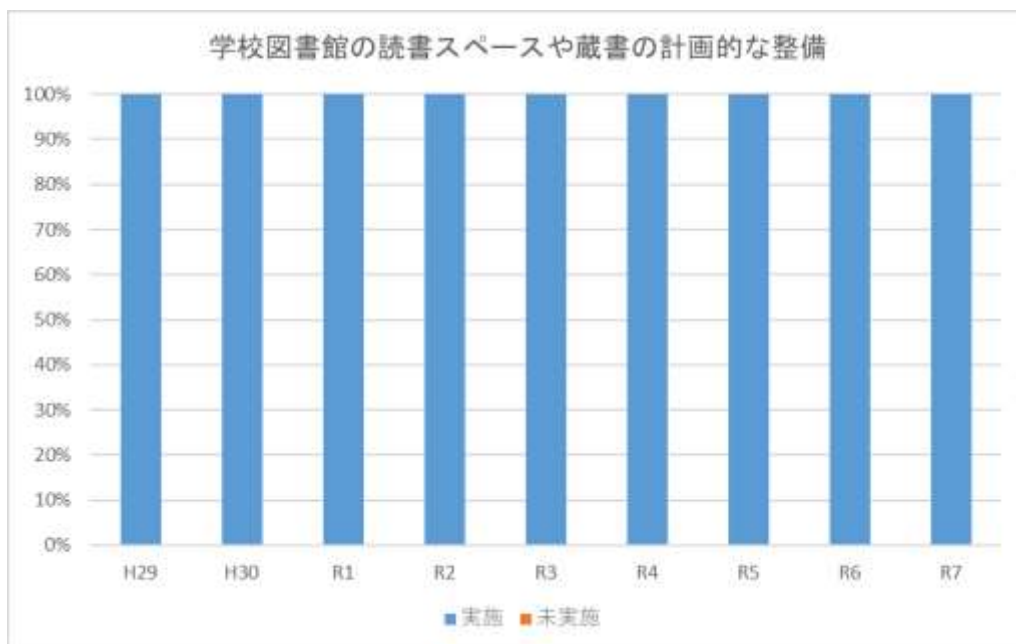
学校図書館を利用した学習活動の充実

各学校における実施状況は、図書館資料を利用した学習や学校司書と連携した授業づくりを行うなど、令和3年度以降は全ての学校で取組が進められています。児童・生徒の自主的、自発的な読書活動や地域の図書館等と連携し多様な資料を基にした情報収集・学習活動を充実させるため、今後も継続して学校図書館の利用を促進し、児童・生徒の情報活用能力の育成に努めることが課題です。（グラフは次ページ）



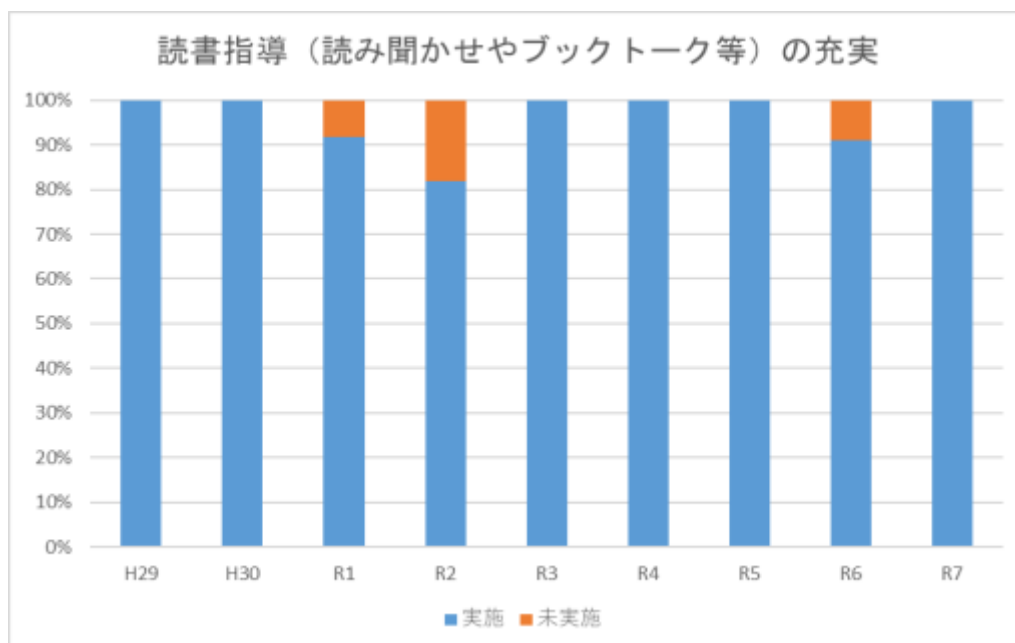
学校図書館の読書スペースや蔵書の計画的な整備

平成 29 年度以降、全ての学校において学校図書館の読書スペースや蔵書の計画的な整備が進められています。今後も継続して児童・生徒の成長や学習段階に合わせた図書の計画的な整備・充実を図ることが課題です。



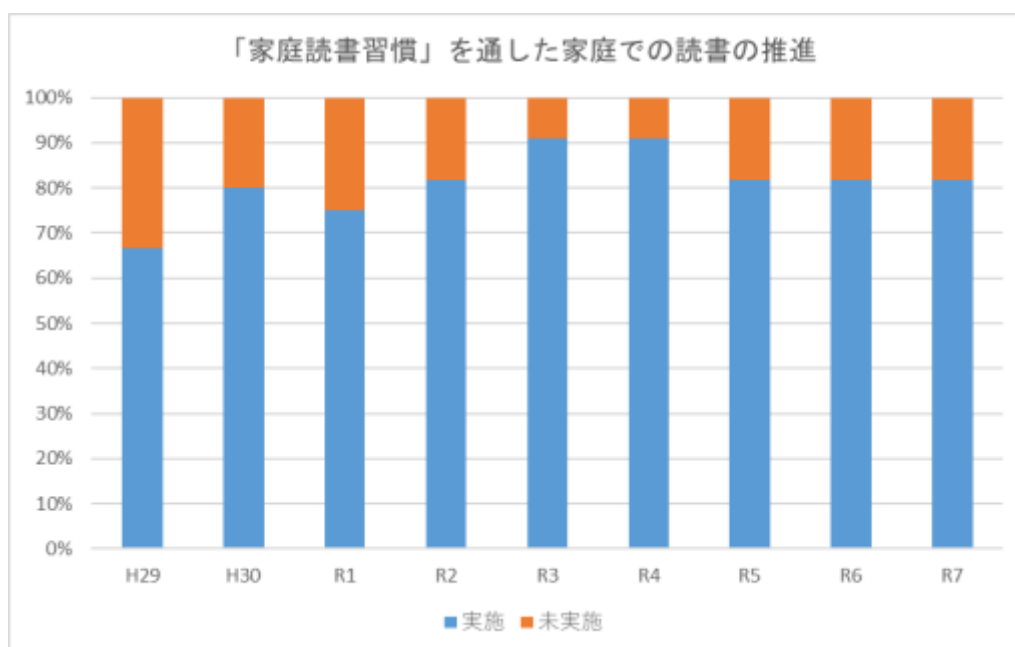
読書指導の充実

各学校における読書指導については、ボランティアによる読み聞かせや学校司書によるブックトーク、アニメーション、ビブリオバトルを行うなど、令和7年度は全ての学校で取組が進められています。今後も継続して児童・生徒が自ら本に親しむことができるよう、更なるボランティアや学校司書と連携した読書指導の充実を図ることが課題です。(グラフは次ページ)



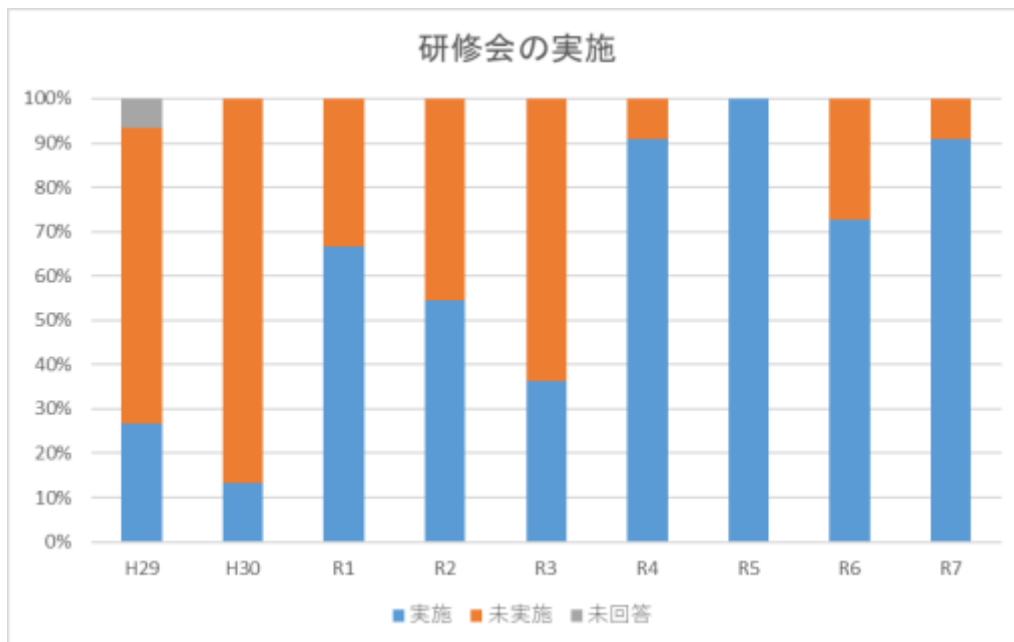
「家庭読書週間」を通した家庭での読書の推進

各学校における「家庭読書週間」を通した家庭読書の推進は、年間を通した「うちどく（家庭読書）」の取組や市からのお知らせの配布・タブレットへの配信など、令和7年度は8割以上の学校で取組が進められています。より多くの学校が読書指導の取組を進めるとともに、児童・生徒の保護者の協力を得ながら、家庭における読書活動を推進していくことが課題です。



研修会の実施

各学校における研修会の実施状況は、県図書館大会や図書館協会研修会、LL ブック（やさしく読める本）研修に参加するなど、令和7年度は9割以上の学校で取組が進められています。児童・生徒が自ら本に親しむための手助けになるよう、司書教諭、学校司書が専門的な知識・技能を習得し、その専門性が一層発揮されるよう研修機会の充実を図ることが課題です。（グラフは次ページ）



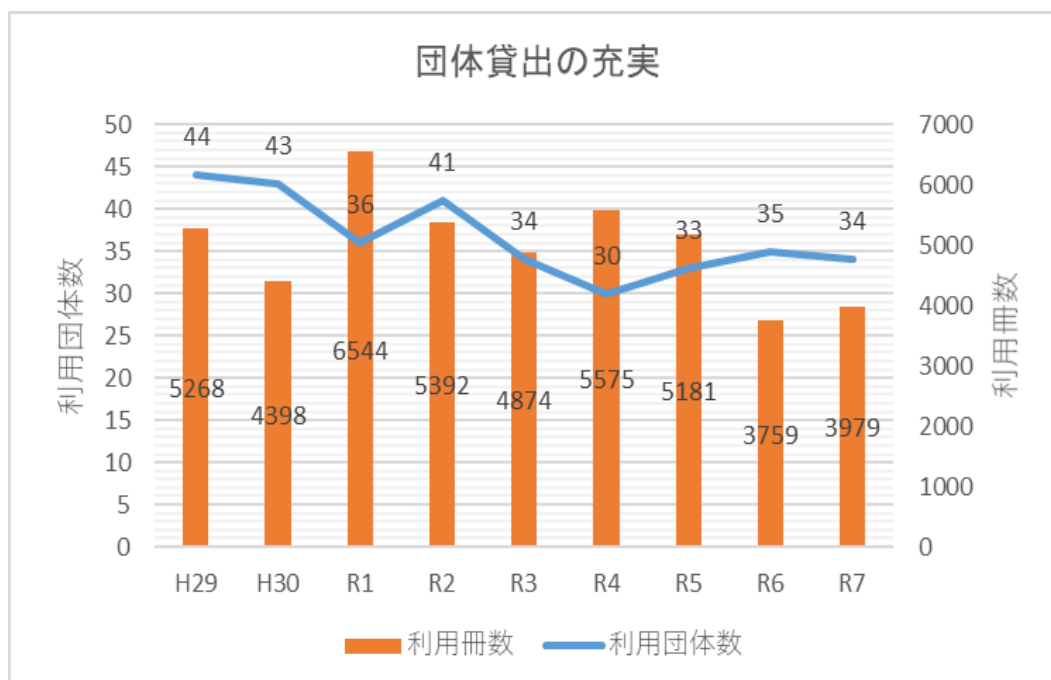
④ 図書館分野

【所属する機関】 中野市立図書館、北部分館、西部分館、豊田分館（計4施設）

図書館分野では、子ども読書活動推進事業の主要な事業として、乳幼児向けの「ブックスタート事業」、「フォローアップ事業」、「0～3歳のおはなし会」、幼稚園、保育所、認定こども園向けの「絵本読み聞かせ出前事業」を実施してきました。その他、幼稚園や保育所、認定こども園、学校向けの団体貸出、読み聞かせボランティアと連携したイベントを実施しました。子ども読書活動推進事業の主要な事業の実施状況や成果は次のとおりです。

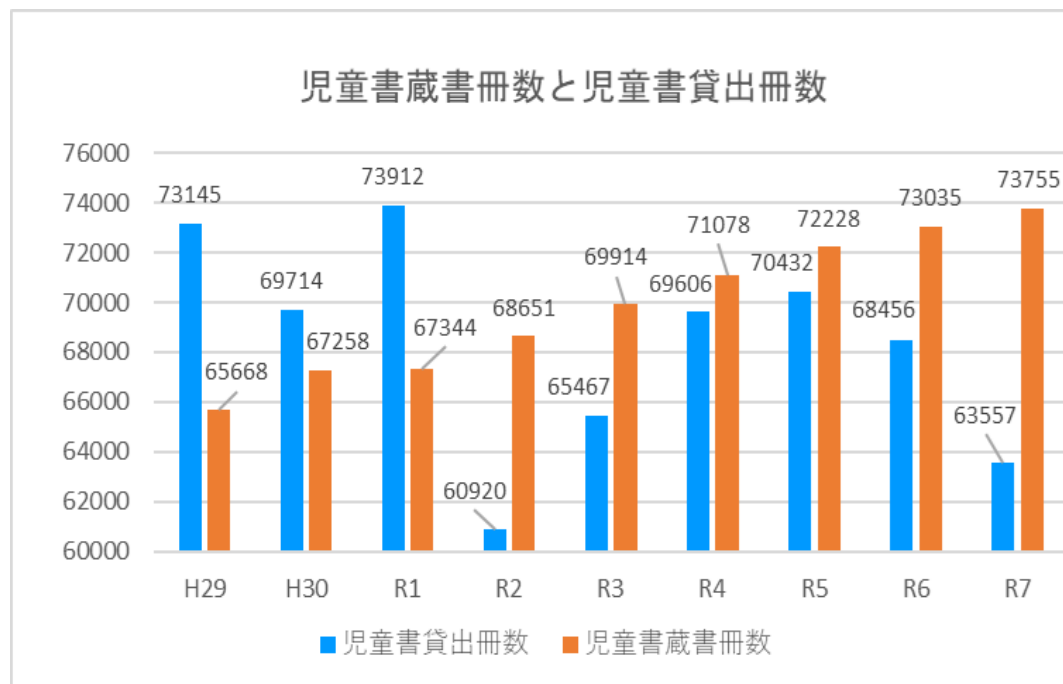
団体貸出の充実

団体の利用冊数および利用団体数ともに減少傾向にあります。読書活動に関わる団体を支援するため、計画的な運用や蔵書の整備が必要です。



蔵書の充実

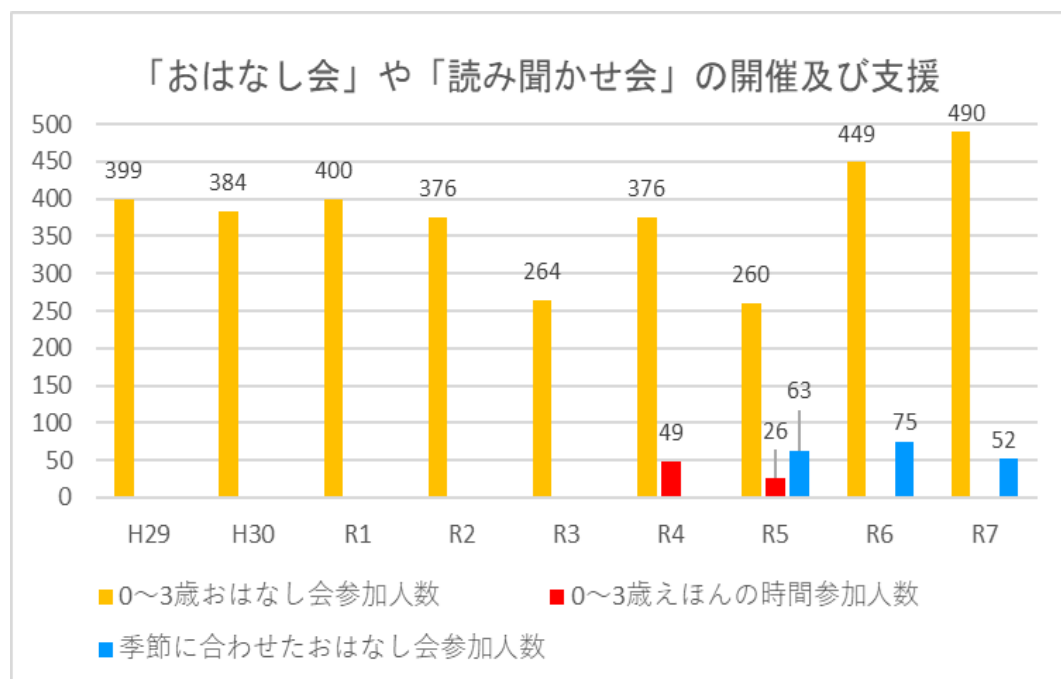
児童書に関する蔵書冊数については増加傾向にありますが、貸出冊数については減少傾向にあります。読書に対するきっかけづくりが必要な子どもたちや探究学習が必要な小・中学生を支援するため、蔵書の充実が必要です。



※R7は図書館リニューアルに伴い開架書庫を減らした影響による減少

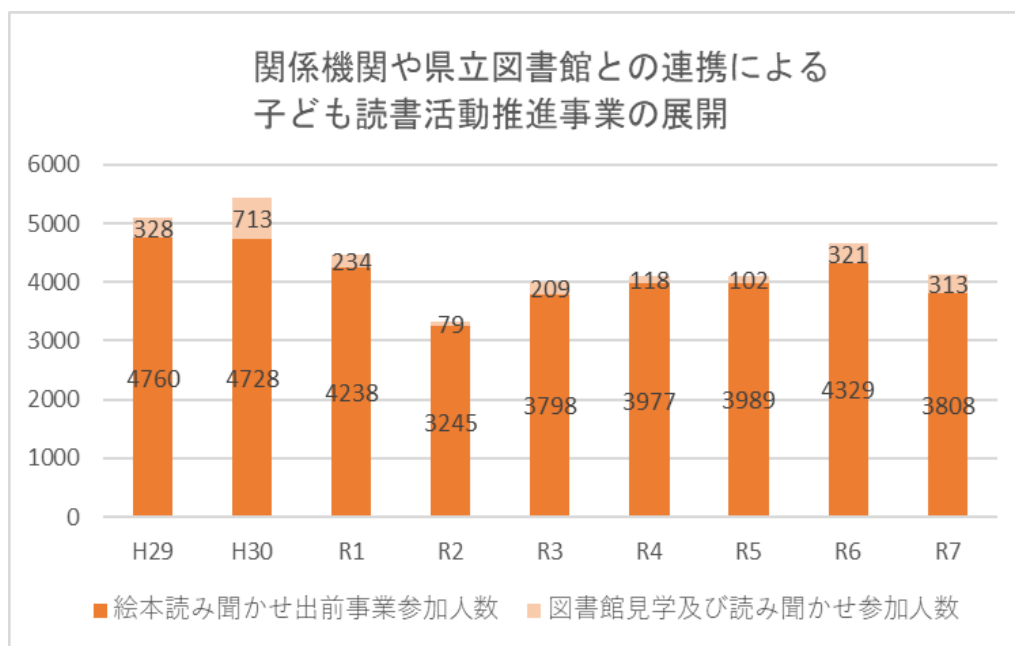
「おはなし会」や「読み聞かせ会」の開催及び支援

0～3歳のおはなし会の参加人数は増加傾向にあります。今後は季節に合わせたおはなし会の参加者を増やすとともに、子どもの成長に合わせた読み聞かせなどの読書活動を推進する必要があります。



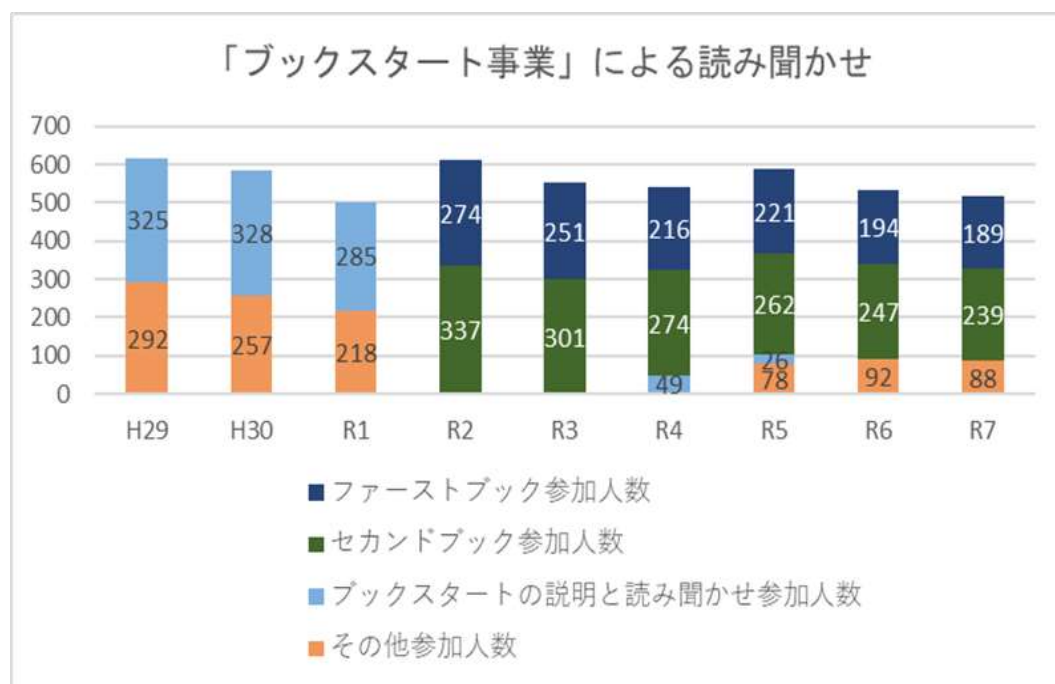
関係機関や県立図書館との連携による子ども読書活動推進事業の展開

令和2年度にかけて減少傾向でしたが、令和3年度から現在にいたるまで増加傾向にあります。今後も各関係機関と連携し、読書活動を推進していく必要があります。



「ブックスタート事業」による読み聞かせの推進

ブックスタート事業関連の参加者数は、ほぼ横ばいで推移しています。今後も乳幼時期から家庭内で読み聞かせ等の習慣づけを支援していく必要があります。

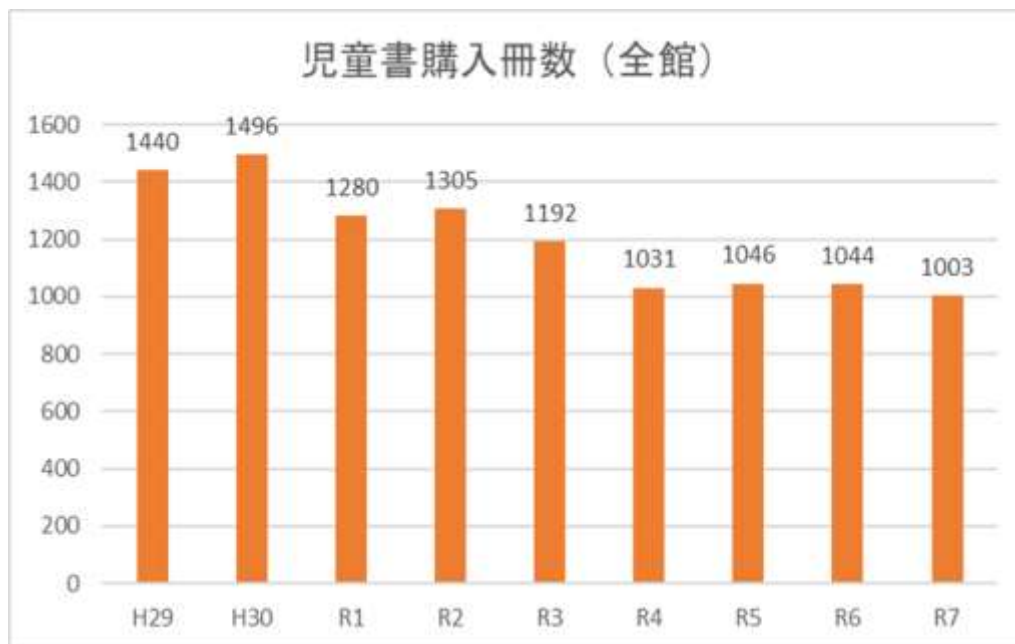


※その他参加人数

- ・H29～R1:ファーストブック、セカンドブックが実施される前に、3歳児健診時の受付時に読み聞かせをした人数
- ・R5～R7:育児教室で読み聞かせした人数

児童書購入冊数

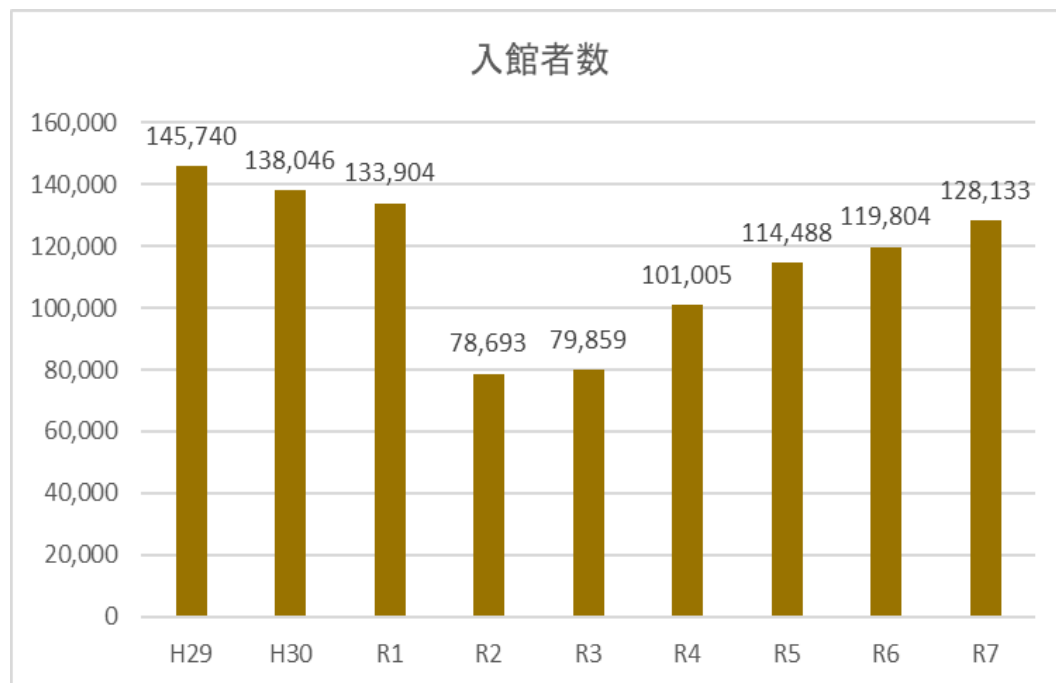
平成 29 年度から現在にいたるまで、約半数ほどまでに減少しています。読書に対するきっかけづくりが必要な子どもたちのためにも蔵書を充実させる必要があります。



(参考)

入館者数(全館)

平成 29 年度に比べて、コロナ禍で約半数ほどまでに減少しましたが、令和6年度に市立図書館をリニューアルしたこともあり、近年は増加傾向にあります。

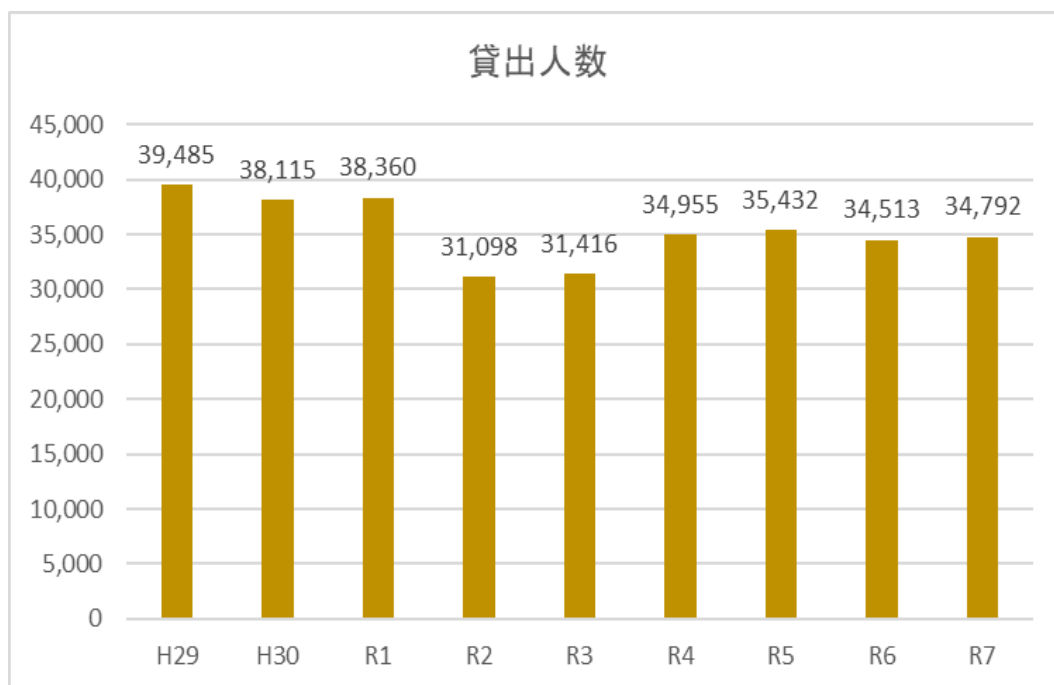


(内訳)

	本館	北部	西部	豊田	合計
H 29	139,300	447	810	5,183	145,740
H 30	131,826	407	566	5,247	138,046
R 1	128,606	446	348	4,504	133,904
R 2	74,975	418	172	3,128	78,693
R 3	75,562	513	235	3,549	79,859
R 4	96,545	568	318	3,574	101,005
R 5	109,644	509	343	3,992	114,488
R 6	114,493	531	316	4,464	119,804
R 7	123,150	532	204	4,247	128,133

貸出人数(全館)

平成 29 年度に比べて、コロナ禍で一時期減少しましたが、近年は、コロナ禍以前の水準までには回復しておらず、横ばい傾向にあります。

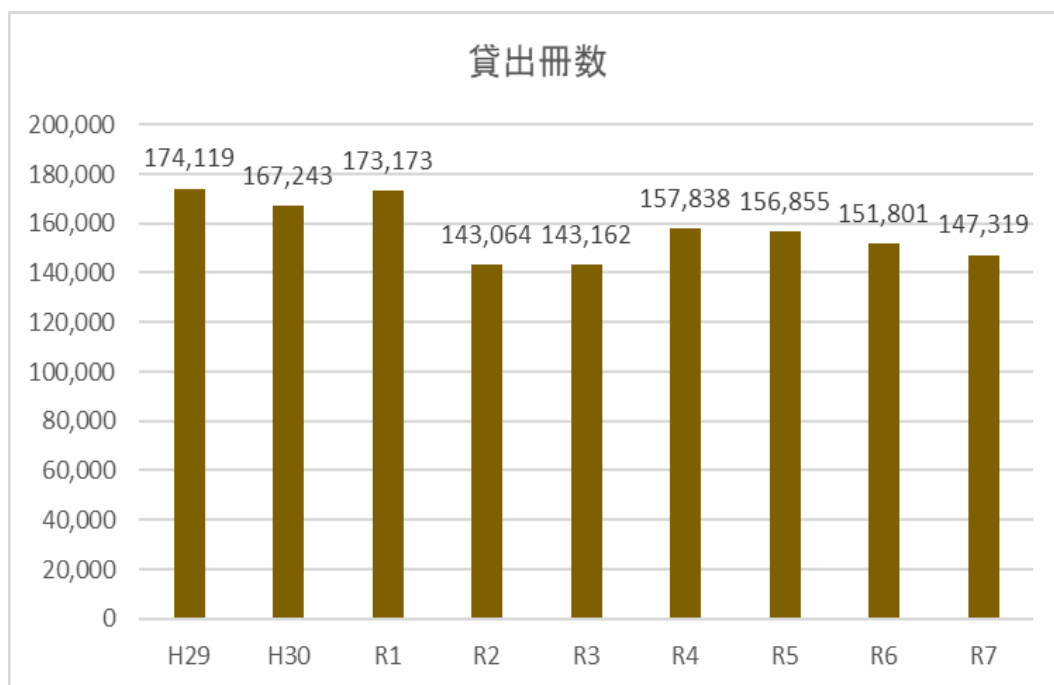


(内訳)

	本館	北部	西部	豊田	合計
H29	36,776	340	260	2,109	39,485
H30	35,444	369	230	2,072	38,115
R1	35,878	303	163	2,016	38,360
R2	29,009	298	91	1,700	31,098
R3	29,065	355	136	1,860	31,416
R4	32,588	347	157	1,863	34,955
R5	33,088	347	157	1,840	35,432
R6	32,090	313	133	1,977	34,513
R7	32,549	341	97	1,805	34,792

貸出冊数(全館)

平成 29 年度に比べて、コロナ禍で一時期減少し、一時期は回復しましたが、近年は減少傾向にあります。



(内訳)

	本館	北部	西部	豊田	合計
H29	164,463	855	855	7,946	174,119
H30	157,347	1,222	718	7,956	167,243
R1	163,693	973	632	7,875	173,173
R2	133,678	1,035	248	8,103	143,064
R3	132,510	1,304	517	8,831	143,162
R4	148,018	989	646	8,185	157,838
R5	147,027	898	637	8,293	156,855
R6	142,132	972	614	8,083	151,801
R7	138,784	1,123	296	7,116	147,319